

9月1日の防災の日を前に、洪水時の水位予測が大幅に見直しされる

本日の神戸新聞の記事では、加古川が氾濫した場合の、その氾濫原の広さが大幅に拡大したこと、そしてその水深も予想を超える深さとなることが示された。

何百年に一度、千年に一度、気象庁の計測が始まって以来、などと記録づくめの昨今である。気象庁としても何が起ころとも不思議ではないとの考え方で、本資料を作成したものと考えられる。

もしこのような水害が起これたとすると、避難場所は高台しかない。10m規模の深さに至る洪水ともなれば、加古川市上荘町国包に江戸時代に築かれた築山でも対処できない可能性がある。

ましてや、加古川市の南部や高砂市に至っては、その避難先の見当もつかない。加古川市や高砂市は、市として早急に地域ごとの避難場所の決定と、その公知が求められる。

神戸新聞 2019.8.30

### 「千年に1度」の大雨、県想定

# 加古川下流 72.3平方キロ 浸水

## 水深最大11.8m、家屋倒壊も

県は29日、「千年に1度」の大雨による被害想定を公表した。東播地域では加古川下流域の浸水面積がこれまでの被害想定より1.7倍になる72.3平方キロ、水深も最大で11.8mに達するとした。高砂市の法華山谷川でも浸水の想定面積が4.1倍に及び、県加古川土木事務所は「被害があまりにも大きく驚いた。十分な備えをしてほしい」と呼び掛けている。

加古川流域で48時間に750mmの雨が降ると想定し、支川の影響も含めた。加古川市を中心とした下流域では加古川両岸で広範囲に浸水し川沿いでは家屋が倒壊。水深は加古川市八幡町で最も深く、11.8mになる可能性がある。JR加古川駅周辺でも深さ4.7mに浸水。高砂市今市で最大9時間続く恐れを指摘した。また高砂、加古川市を流れる

法華山谷川では、9時間で44.3mmの降雨があると想定。浸水面積は従来の4.1倍の11.2平方キロに広がった。被害は加古川ハイパス南の法華山谷川東側で大きく、高砂市阿弥陀町では深さが3.5mになる地点もある。

また稲美町や播磨町を流れる霧瀬川では中流域で浸水が発生。被害は霧瀬川の西側を中心に広がり、播磨町中では水深5.6mに達した。加古川市の拍川でも、浸水被害が出るという。

県加古川土木事務所の恒藤博文副所長(49)は「天規模な豪雨はいつ来るかわからない。避難所や近くの高層建築物、大雨の際に逃げる場所を、いくつも考えておいてほしい」と話している。県は「千年に1度」クラスの大雨がもたらす浸水被害を昨年からの順次公表しており、今回が3回目。(本田純)

④法華山谷川一帯の洪水浸水想定区域 ⑤加古川下流域の洪水浸水想定区域

最大浸水深 高砂市阿弥陀町 3.5m

高砂市 加古川市 JR神戸線 加古川駅 国道250号 山陽新幹線 山陽電鉄

高砂市役所周辺 浸水深 2.2m

加古川下流 72.3平方キロ 浸水

水深最大11.8m、家屋倒壊も

「千年に1度」の大雨、県想定

加古川流域で48時間に750mmの雨が降ると想定し、支川の影響も含めた。加古川市を中心とした下流域では加古川両岸で広範囲に浸水し川沿いでは家屋が倒壊。水深は加古川市八幡町で最も深く、11.8mになる可能性がある。JR加古川駅周辺でも深さ4.7mに浸水。高砂市今市で最大9時間続く恐れを指摘した。また高砂、加古川市を流れる

法華山谷川では、9時間で44.3mmの降雨があると想定。浸水面積は従来の4.1倍の11.2平方キロに広がった。被害は加古川ハイパス南の法華山谷川東側で大きく、高砂市阿弥陀町では深さが3.5mになる地点もある。

また稲美町や播磨町を流れる霧瀬川では中流域で浸水が発生。被害は霧瀬川の西側を中心に広がり、播磨町中では水深5.6mに達した。加古川市の拍川でも、浸水被害が出るという。

県加古川土木事務所の恒藤博文副所長(49)は「天規模な豪雨はいつ来るかわからない。避難所や近くの高層建築物、大雨の際に逃げる場所を、いくつも考えておいてほしい」と話している。県は「千年に1度」クラスの大雨がもたらす浸水被害を昨年からの順次公表しており、今回が3回目。(本田純)

④法華山谷川一帯の洪水浸水想定区域 ⑤加古川下流域の洪水浸水想定区域

山陽新幹線 山陽電鉄 加古川市 加古川駅 JR加古川線 JR加古川駅周辺 浸水深 4.7m 稲美町 高砂市 高砂市役所周辺 浸水深 4.5m 播磨町 国道250号 JR神戸線

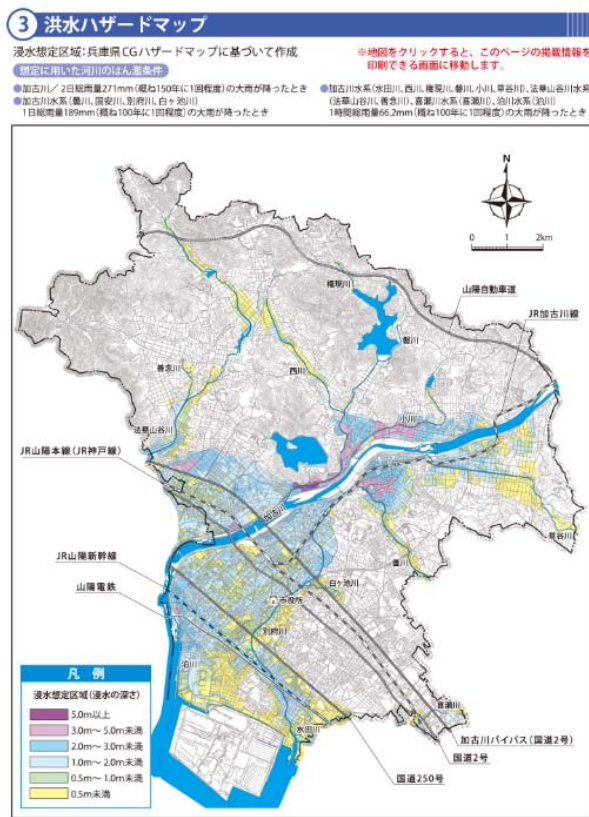
最大浸水深 加古川市八幡町 11.8m

JR厄神駅周辺 浸水深 7.7m

浸水した場合に想定される水深

- 10.0m以上20.0m未満の区域
- 5.0m以上10.0m未満の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 0.5m以上3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

加古川市のホームページより（本日現在）



この洪水ハザードマップでは国包は冠水しないことになっている。

新聞記事では、5～10mの冠水の可能性ありとなっている。

#### 国包の築山

5mの冠水に対処できたとしても10mでは対処できない。

加古川市指定の天然記念木に登れば助かる可能性はある。

